

RING 178

組み立て説明書



重要！

本説明書を十分にお読みいただいた上で、作業を行ってください。
組立説明書に従って正しい道具を使用し、正しい作業方法で行ってください。
用途などによる法規等については、各地域築部へご確認ください。
施工動画は(<http://www.arke.jp/>)よりご確認ください。

PYRAMID.ltd 株式会社ピラミッド
〒550-0021 大阪市西区川口 3-1-16
TEL:06-6584-8422 FAX:06-6584-8421
E-MAIL:info@arke.jp HP:www.arke.jp

コンクリート用ビット



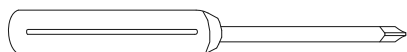
Ø 8x300 12x120 14x150 mm

木工用ビット



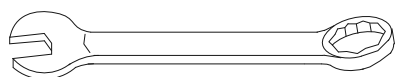
Ø 2.5 3.5 4.5 mm

ドライバー # 2



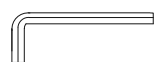
PH 2

メガネレンチ



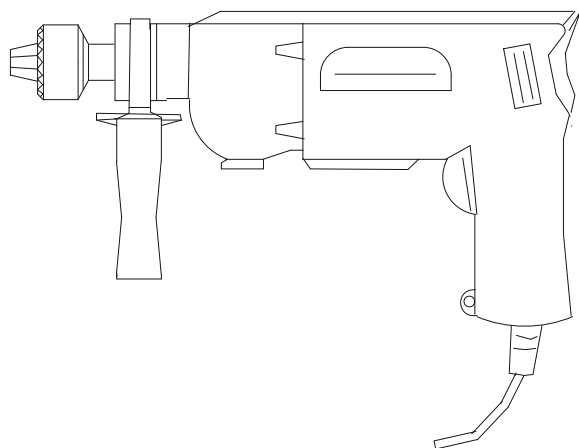
13 17 30 mm

六角スパナ

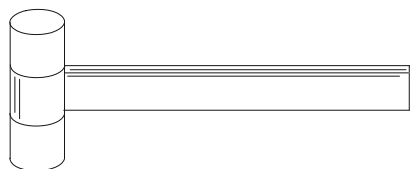


1,5 2 2.5 3 4 5 6 12 mm

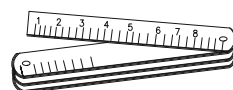
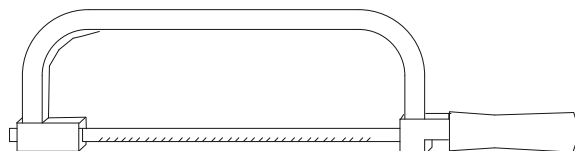
ドリル



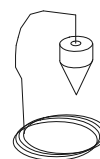
ハンマー



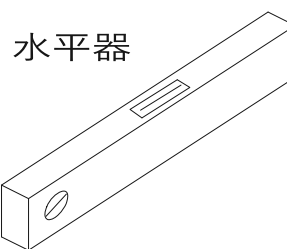
ノコギリ



メジャー

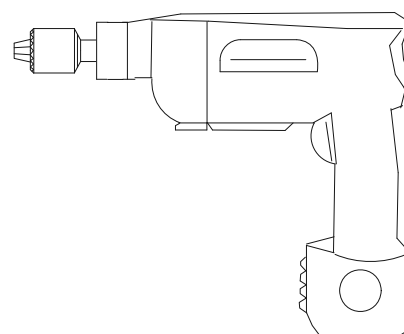


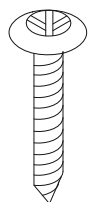
下げフリ



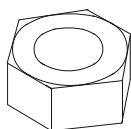
水平器

インパクト

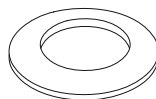




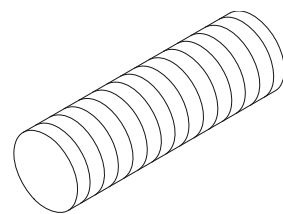
C64



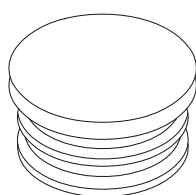
B03



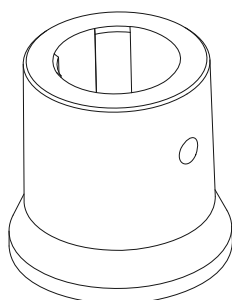
B04



B33



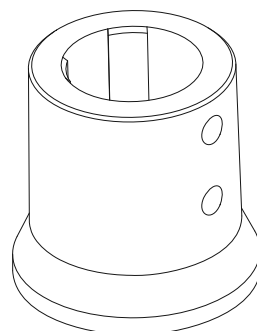
B82



F01



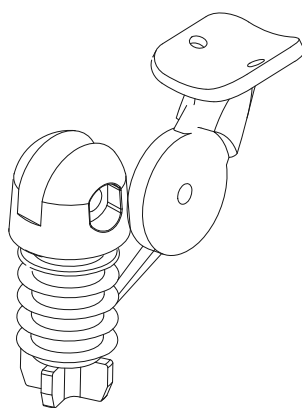
B02



F34



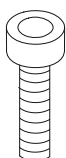
B02



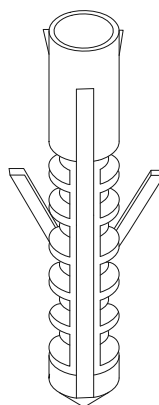
D43



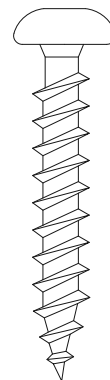
C54



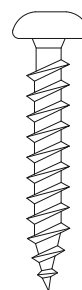
C79



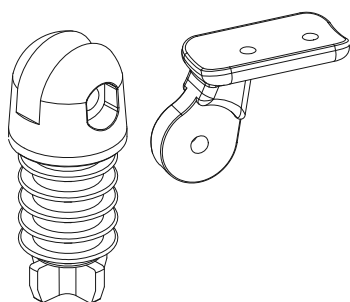
B12



C58



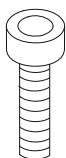
C57



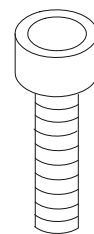
C63



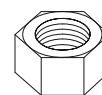
C65



C66



C50



C49

*組立を始める前に必ず部材数量をご確認ください(TAB1 参照)
組立開始後に部品の不足のご連絡を頂いた場合には、有償でのご提供となります。

* 組立を始める前に必ず部材数量をご確認ください。(TAB 1 参照)

組立開始後に部品の不足のご連絡を頂いた場合には、有償でのご提供となります。

TAB. 1

A	B
	<u>φ178cm</u>
A12	3
A13	5
A14	1
A15	2
B02	62
B03	1
B04	1
B05	1
B12	10
B13	11
B17	1
B33	6
B46	2
B47	1
B82	37
B83	11
B95	4
C03	46
C04	1
C49	3
C50	3
C54	1
C57	98
C58	27
C63	46
C64	111
C65	54
C66	54
C71	48
C72	1
C79	1
C81	1
D01	6
D45	104
D46	1
D47	13
D43	1
D72	6
E02	1
F01	10
F08	6
F09	3
F12	4
F34	1
G01	1
G02	2
G03	1
L03	12
X01	1

RINGφ178 特別事項

TAB.2

●スパーサー(D45)の必要枚数

階高によって、スパーサー(D45)の必要枚数が異なります。
下記のように算出してください。

計算方法

$$\text{階高} - 10 - (207 \times \text{段数}) \div 3$$

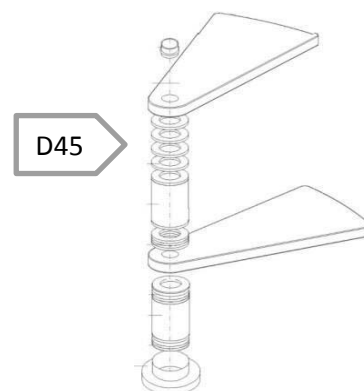
*数字は全てmm単位です。

*10(mm)→固定ホルダー分厚み

*207(mm)→最小蹴上げ

*3(mm)→スパーサー1枚の厚み

*1段につき8枚まで



段数・高さ

10段(208～238cm)
11段(229～261cm)
12段(250～285cm)
13段(271～309cm)
14段(291～332cm)
15段(312～356cm)
16段(333～380cm)

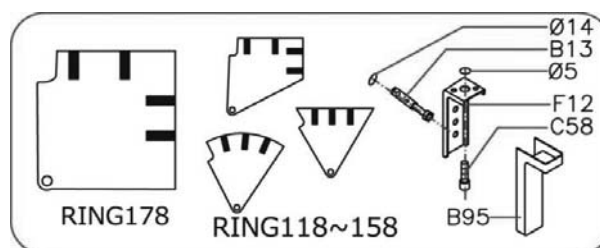
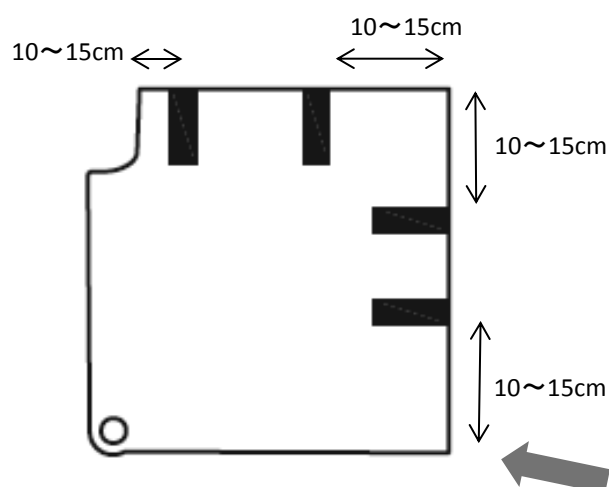
◎例：段数13段で階高2840mmの場合・・・

$$2840 - 10 - (207 \times 13) \div 3 = 46 \text{枚}$$

*端数は切り上げor切り捨てになります。現場で調節して下さい。

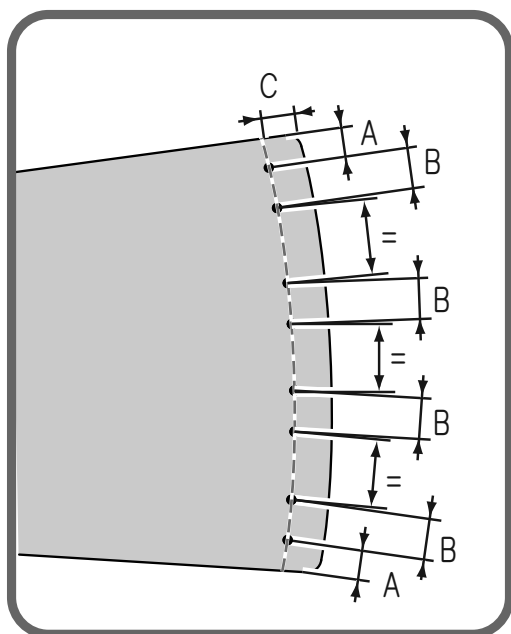
●L型ブラケットの取り付けについて

踊り場を固定するL型ブラケットは、
端から10cm～15cmの間隔で取り付けして下さい。



*178サイズのみ踊り場(E02)の形状が異なります。

●ブラケットC71・C72の取り付けについて

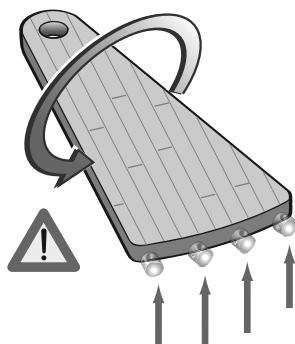


①

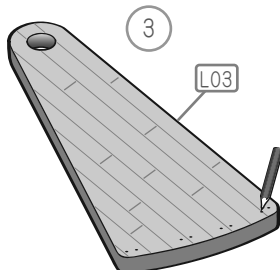
A,B,C の寸法を基に、
割り付け寸法を算出してください。

A	26 mm
B	26 mm
C	23 mm

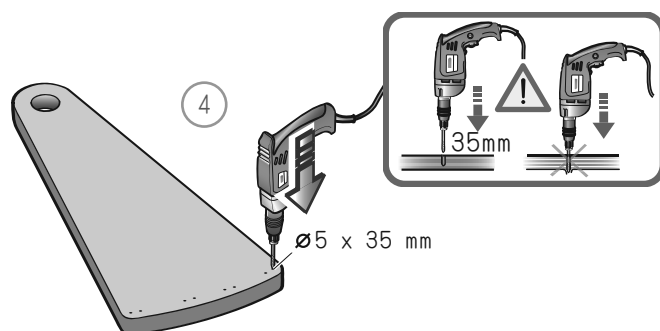
②



③

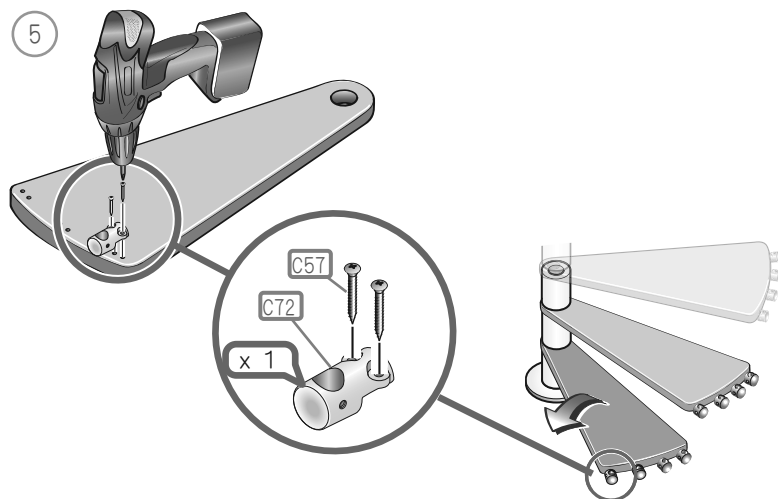


④

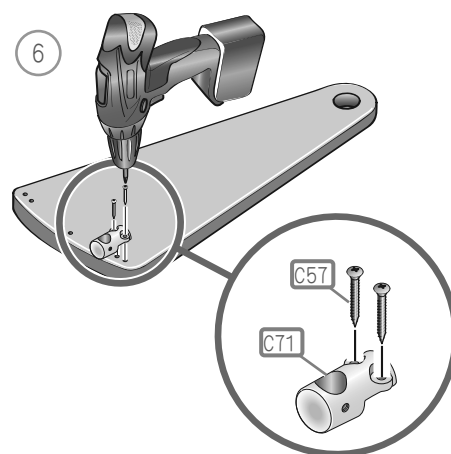


踏板を裏返し（両面表面仕上げ）、鉛筆でビス位置を印付け、ドリルで開口してください。

⑤



⑥



下穴に沿って、ビス C57 でブラケット C71 を、最下部分には一回り大きい C72 を取り付けてください。

RING178

必ず、施工開始前に、パーツを取り出し確認してください。（TAB1 を参照の上） 施工に必要な工具を準備し、組み立て手順は施工用動画をご確認ください。

コンクリート用の固定部材が含まれていますので、木造や鉄筋への固定の場合は、現場に合わせた固定ボルトをご用意ください。また、瞬間接着剤は、現場方にてご用意ください。

組立の準備

1. まず部材 C71 と C72 に、止めネジ B02 を軽くねじ入れておき、踏板 L03 にビス C57 で固定します。同様に L03 に C72 をビス C57 で固定します。これが最下段の踏板となります。取付け位置は距離を等分し算出してください。(FIG.2)
2. 慎重に階高を計測し、スペーサーD45（3 mm）の総数を決定してください。(TAB. 2)
支柱部材ト D47 に重ねる枚数を算出し、セットしておきましょう。
3. 子柱 C03 に C63 下部を差し込み、ネジ C66 とナット C65 で C63 の笠木受けを取り付けます。(FIG. 3)
子柱 C81 には D43 を差し込み、ネジ C79 とナット D54 で笠木受けを取り付けます。(FIG. 1)
* C81 は C03 より一回り太い子柱で、最下段専用です。(FIG.1)
4. ベース G03 にボルト B17 と B46 を取り付けます。(FIG. 1)

組立

5. 開口の中心位置を確認し、ベース G03+B17+B46 の位置を決定します。* 各現場に合わせてください。
6. ドリルで 14 mmの開穴を作り、ボルト B13 でベース(G03+B17+B46)を固定します。(FIG.1)
7. 鉄芯 G02 を B46 に回し締め、ベースへ固定します。(FIG.1)
8. ベースカバーD46 を鉄管 G02 に差し込みます。(FIG.5)
9. 部材を順番に挿入していきます：スペーサーD45→支柱部材 D47→スペーサーD45→最初の踏板 L03、
続いてスペーサーD45→支柱部材 D47→スペーサーD45→2 段目の踏板 L03 と繰り返します。
* 上部の固定が完了するまでの間、踏板を左右交互に配置し、荷重のバランスに注意してください。(FIG.5)
10. 鉄芯 G02 は接続部材 B47 を使い接続延長し、踏板の挿入を続けていってください。(FIG.5)
11. 鉄芯 G02 が上部まで達したら、接続部材 B46 使って、長ネジ G01 を接続します。
(FIG.6) ここで、踏板 L03 の挿入が必要な場合には、部材 D01 を使用してください。
* 上階フロア面より G02 を高く設定してはいけません。* G01 はフロア面より 15 cm高く設定してください。
12. 最上段に位置する踊り場 E02 を挿入していきます。(FIG.8) (FIG.7)から回転方向と踊場(E02)の裏表を確認し、部材 B05、ワッシャ B04、ナット C70 で留めます。
* 踏板はまだ回転する状態にありますので、ご注意ください。
13. 踊り場 E02 を開口サイズに合わせてカットする必要がある場合には、カット調整してください。(FIG.4)

最上段の固定

14. L型金具F12を踊場E02の外縁から約15cmで位置決定し、ボルトB13（O 14mmのドリル口）を使用して完全に固定します。
15. ビスC58（φ5mmのドリル口）を使用して、L型金具F12と踊り場E02を固定します。
16. L型金具にカバーB95を取り付けます。(FIG.1)

手摺りの組立

17. 扇状に踏板L03を広げてください。
18. 踊り場E02と直下の踏板L03に子柱C03を通し、二段間を接続していきます。
同様に踏板L03に子柱C03を通し、下の段へ進めていきます。この時、二段間における下段L03止めネジB02のみ締めます。
子柱C03は部材C 63が上部にし、垂直を意識しながら取付けてください。(FIG.8)
19. 子柱C 03の垂直角度を確認します。水平器を利用し上段から、慎重に計測してください。
* この工程は今後の作業に大きく影響しますので、怠らずに行ってください。
20. 子柱の垂直が確認出来たら、センターポールのナットB 03をしっかりと締めてください。(FIG.8)
21. 18に続いて、子柱C 03の垂直を確認し、下段の止めネジB 02を締めます。(FIG.2)
22. 修正の必要があれば、18～21を繰り返してください。
23. 最下段の子柱C 81を取り付けます。前工程で取り付けた子柱C03の高さを基準に、カット調整してください。
24. 子柱固定金具F 34を床に取り付けます。床のφ8mmドリル口に、プラグB 12を取付けた上にF 34を置き、B 83とC 58で固定します。 * F 34は子柱C 81用の金具で、C 71より一回り大きいパーツです。(FIG.1)
25. 端に赤色印がついているハンドレールA14と印の無いハンドレールA13を確認してください。
A14は踊り場E02の上に取り付けるハンドレールです。(FIG.9)
26. ハンドレールA13を円周に合わせて曲げて形成していきます。(FIG.1)
27. 上部の子柱C03から手摺りA13をビスC64で据えつけていきます。
* この時、子柱の角度を確認しながら、作業を行ってください。
28. ハンドレールA13を接着剤+ネジB33+D72を使い、繋いで延長していきます。
29. 最下段の子柱C81までハンドレールを据え付けたら、余分な手摺りを切り落としてください。
30. ハンドレールにビスC64と接着剤でエンドキャップA12を取り付けてください。(FIG.1)
31. 残りの子柱C03を踏板L03に挿入し、止めネジB02で固定します。子柱の垂直を確認して、ハンドレールに取付けます。
* 間の子柱は短いものから据付けしていく事をお勧めします。
* 蹴上げ角度によって、子柱が長く余る場合には、カットして、錆止めを塗るときれいに仕上がります。
32. ハンドレールA13のゆがみを確認し、ゴムハンマーなどで、最終調整してください。
33. 子柱C03の裏底にキャップB82を取り付けて、手摺りの組立は終了です。(FIG.1)
* 手摺組立の終了後、全てのネジが十分にしまっているか再度確認、締め直しをお勧めします。

欄干の組立

34. 踊り場E02が付き出ている長ネジG01に、ポールC04を取り付けます。(FIG.1)
35. 踊り場E02に固定金具F01をボルトC58 (φ5mmのドリル口) ワッシャB83で取り付けます。
前工程で取り付けした手摺りの間隔を参考にし、ポールC04から配置してください。
36. 短い方の子柱C03を固定金具F01に差し込み止めネジB02を締めます。(FIG.1)
37. ポールC04の上部にA15を止めネジB02で取り付けます。(FIG.1)
38. ハンドレールA14 (赤印) をビスC64で取り付けます。(FIG.1)
39. 開口と階段に隙間がある場合など、スペースに合わせて子柱の追加を検討してください。(FIG.10)
40. 子柱を追加する場合には、他の子柱に合わせて等間隔で取り付けます。(FIG.11)

E02 : φ5mmのドリル口を開け、F01・C58・B83・B02を使用します。

床 (コンクリート) : 14mmのドリル口をあけ、F01・B02・B13を使用してください。

* ハンドレールを強く曲げるとシワがよります。ペーパーでなめらかに仕上げるか、一度、切断し子柱で延長してください。

組立の仕上げ

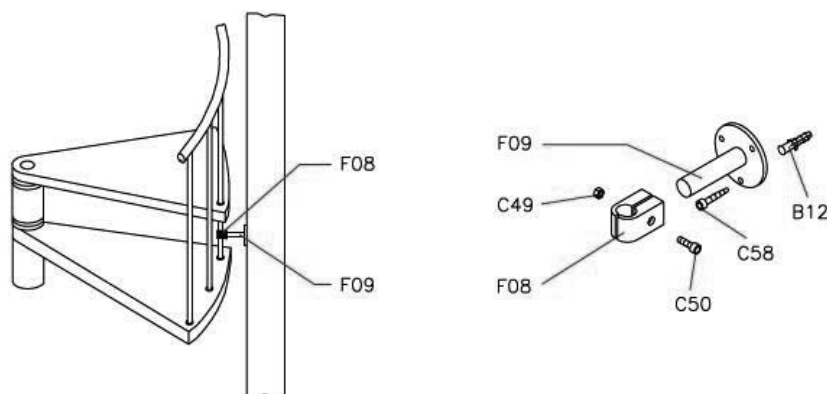
41. 更にしっかりと固定する為に、階段中段あたりの子柱、手摺上端子柱に振れ止めを取り付けます。
フレドメ金具F09をネジC58とB12で壁に固定し、F08をネジC50・ナットC49で子柱C03と接続します。
(FIG.12)

振れ止めブラケットについて (螺旋階段)

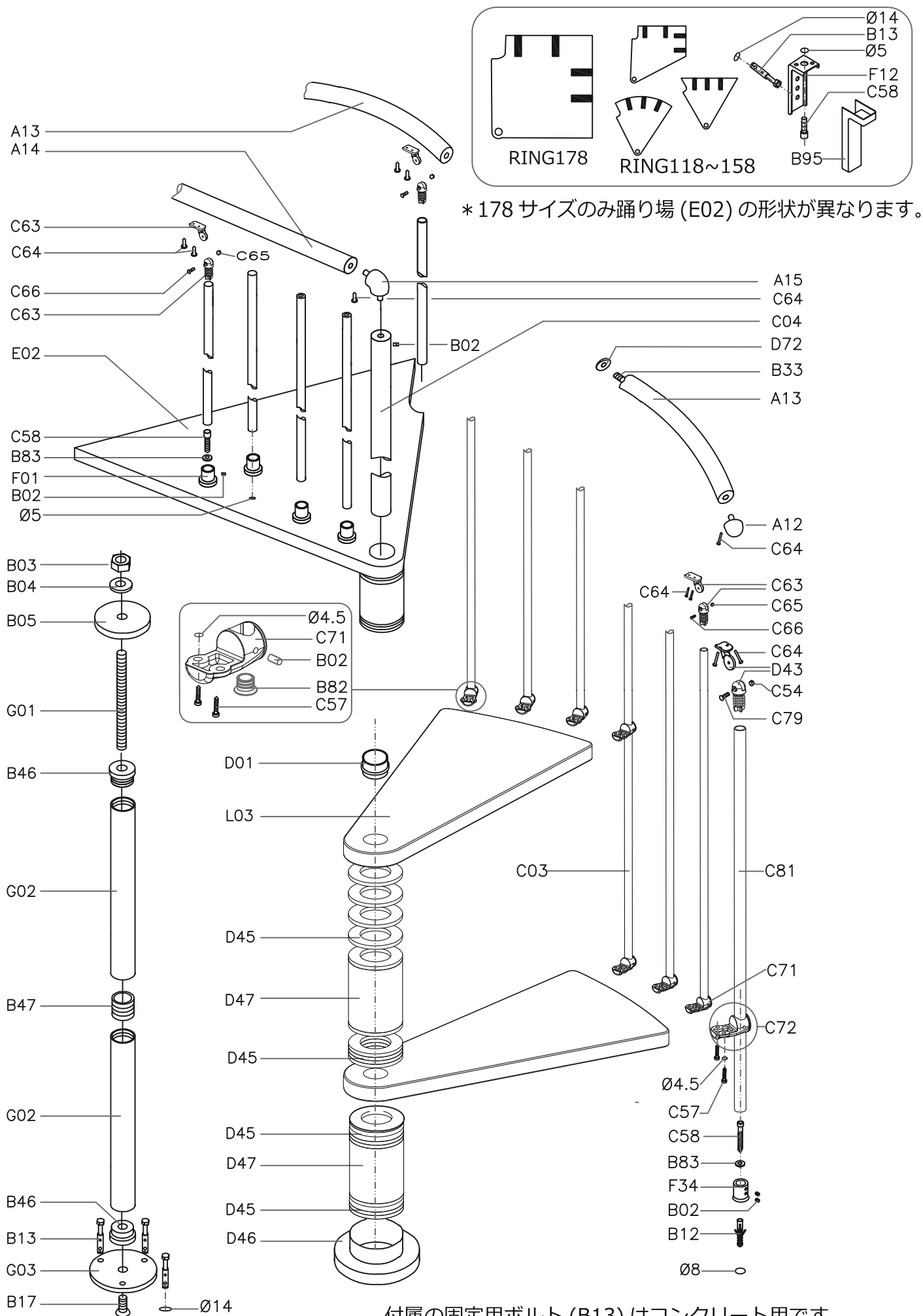
fontanot
scale di ogni tempo

揺れの軽減や補強目的のため、中段あたりへの取り付けをおすすめています。
壁と子柱の距離は約8～15cmまでです。F09の柄部分をカット調整してください。

※直径178 c mのリングの場合、必ず1箇所以上取付てください。



* 記載のパーツ番号はシリーズにより異なります。



付属の固定用ボルト (B13) はコンクリート用です。
各現場に合わせたボルトの選定をお願いいたします。

FIG. 2

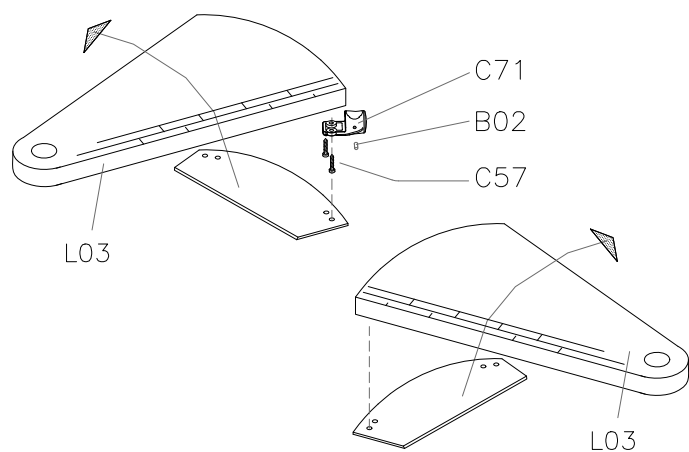


FIG. 4

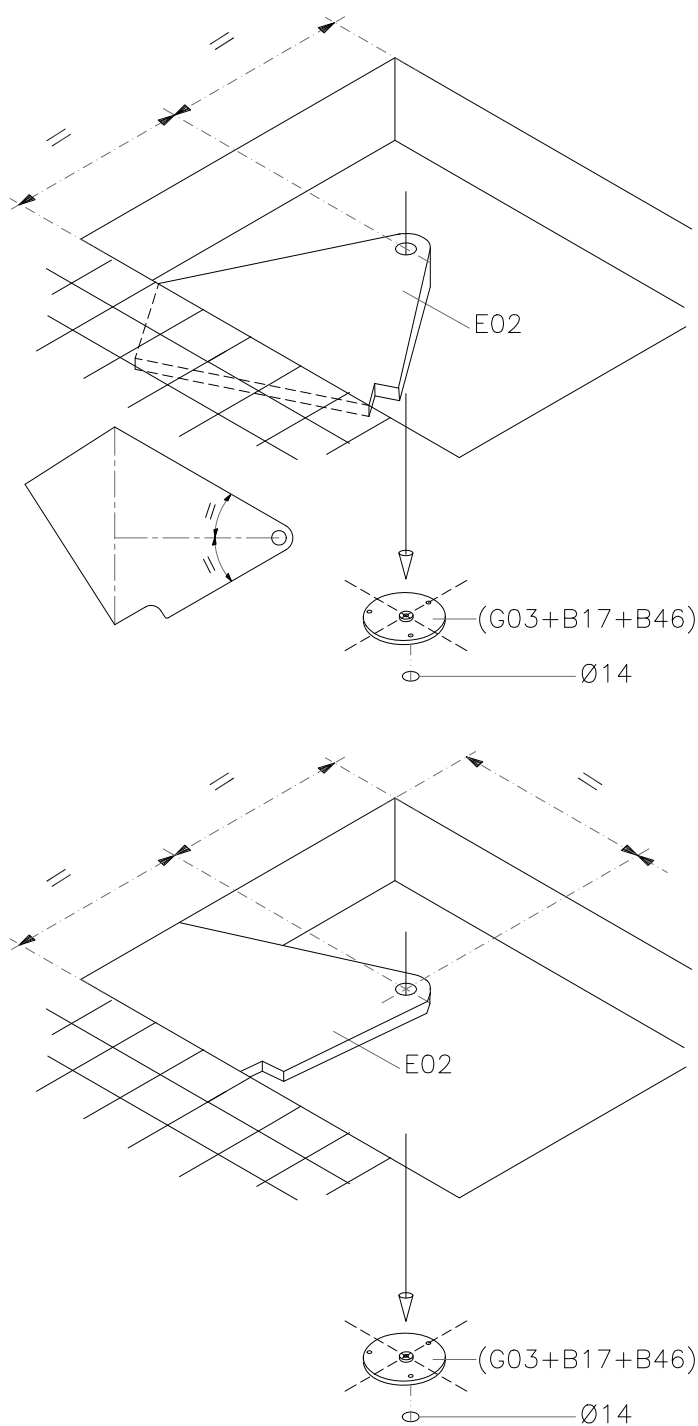


FIG. 3

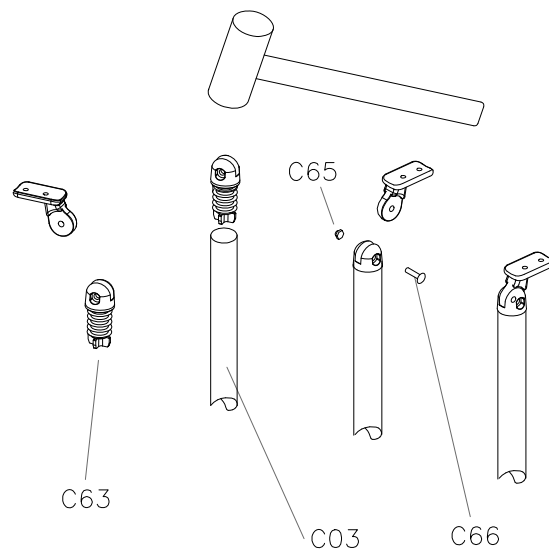


FIG. 5

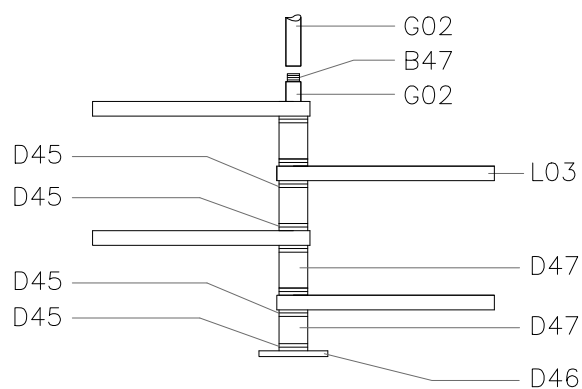


FIG. 6

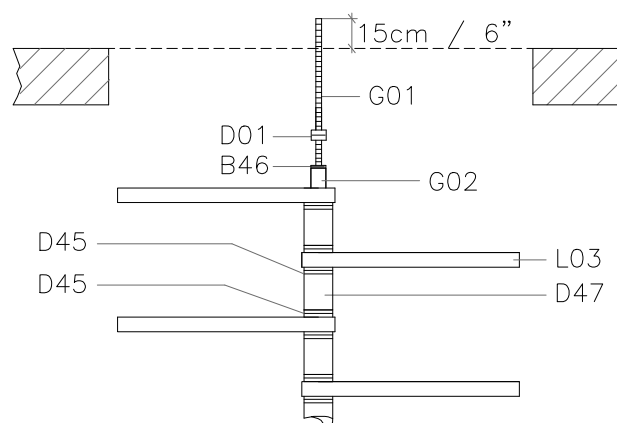


Fig.7を参照の上、踊り場の形状を決定します。
センター上がりの場合には、E02を現場カットしてください。

FIG. 8

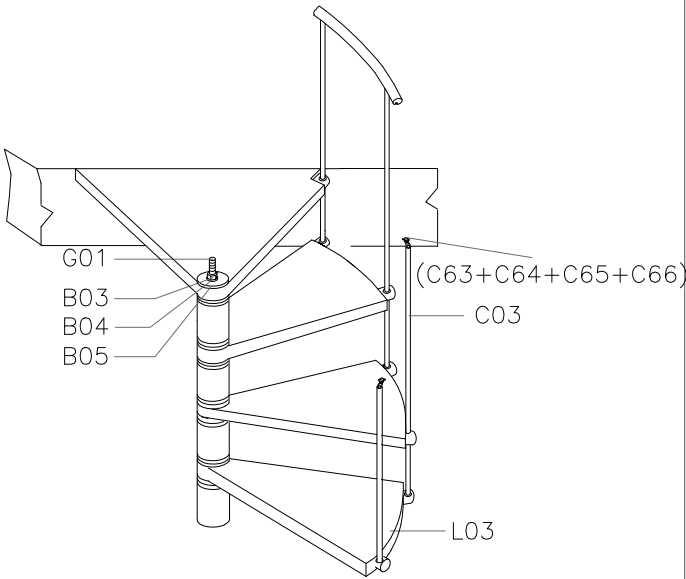


FIG. 9

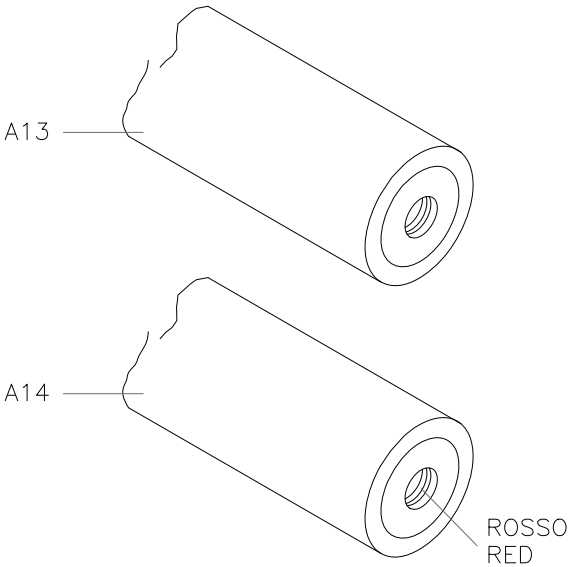


FIG. 10

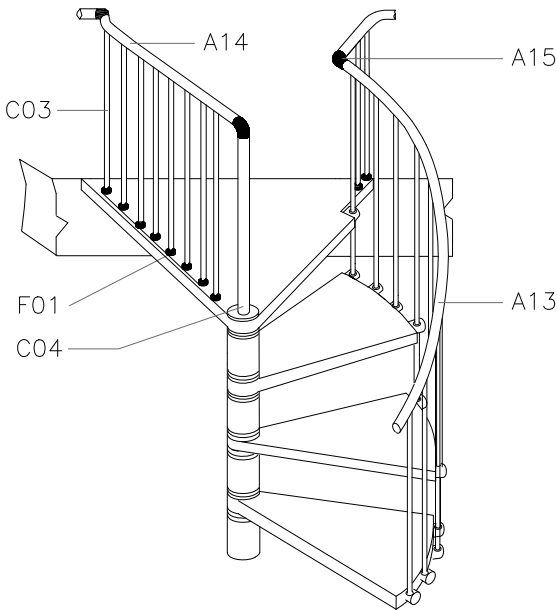


FIG. 11

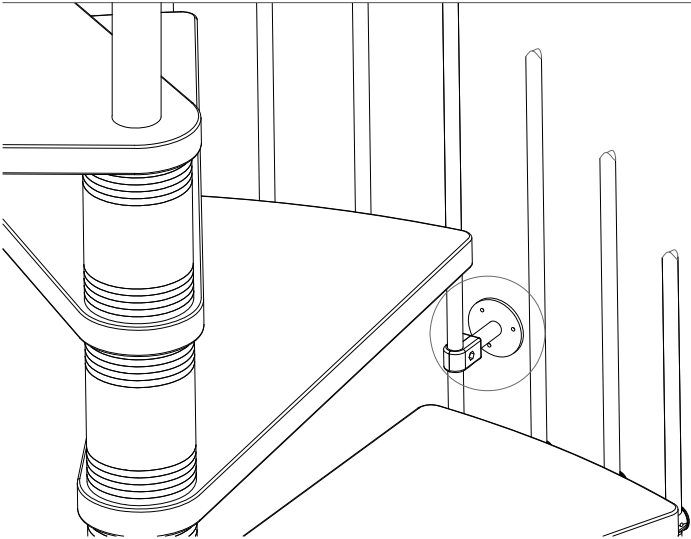
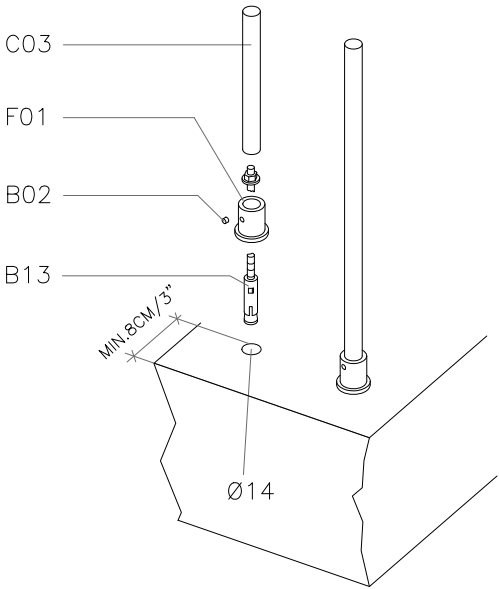
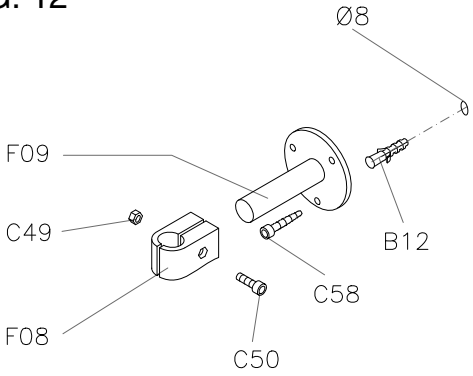
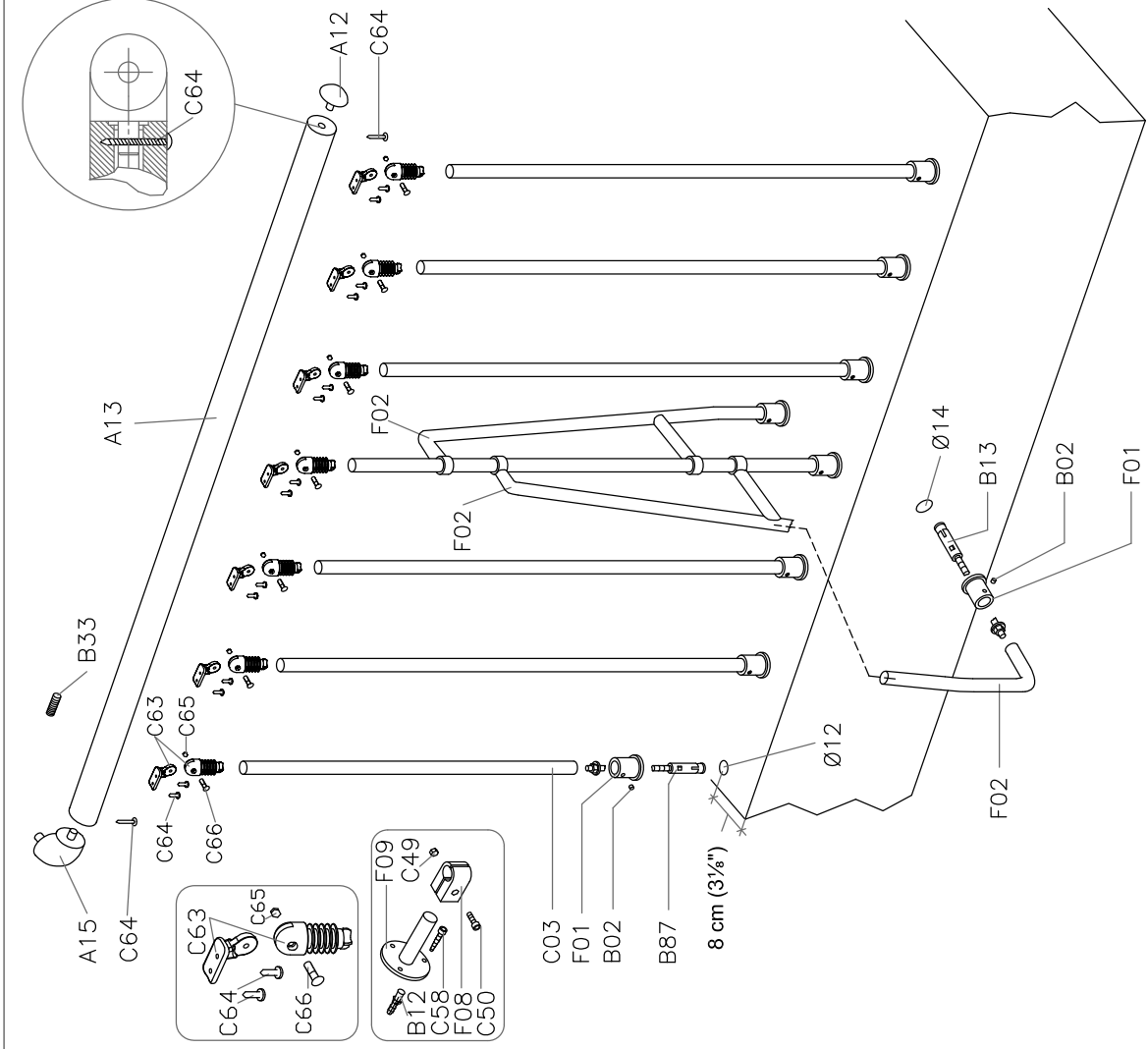


FIG. 12



オプションの欄干キットです。

COD. 5237



N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1
N°=1	N°=10	N°=1

製品データ

商品名：RING

タイプ：屋内用らせん階段

素材：

本体：支柱芯：スチール製（亜鉛メッキ仕上げ）

メタルスペーサー：スチール製（エポキシ粉末使用したオープンワニス仕上げ）

プラスチックスペーサー：ナイロン製

踏板：ビーチ集成材（クリア塗装仕上げ）

手摺り：PVC/芯部アルミニウム

子柱：スチール製（エポキシ粉末を使用したオープンワニス仕上げ）

手摺り固定具：ナイロン製/アルミニウム製

注意：

不適切な使用はおやめください。販売者の指示に準拠していない導入の場合、製品本来の適合性が無効になる可能性があります。

定期的な清掃とメンテナンスを：

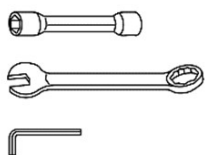


少なくとも半年に一度は、水で湿らせた柔らかい布と、必要に応じて、研磨剤の含まれていない洗剤で溜まった汚れやほこりを清掃してください。水滴の痕や水垢を取り除くために、洗浄後はマイクロファイバークロスなどで表面を完全に乾かしてください。（※研磨剤や強力な洗剤などは絶対に使用しないでください。）

また、安全にご使用いただくため、取り付けから1年程度で、ネジの締まり具合などの点検を実施してください。

（本品は多くのネジやボルトを使用した製品の為、使用や経年の振動により、これらが緩んでくる場合がございます。）

わずかな故障や損傷が発生した場合は直ちに専門家によるメンテナンスを行ってください。

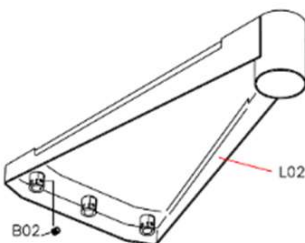


<緩み止め剤の使用について>

BC3 や B02、C31 といった小さなネジの緩みについては、本来強く十分に締め付けることで（最終工程で更に 1/4 回転程度）、動的応力を支え、振動による緩みを防止することができます。

但し、階段の使用が非常に集中する場合、仕様構造上何らかの重力がかかる場合などの特別なケースでは、スレッドロッカー（ネジロック接着剤、ロックタイト 243）を使用することが可能です。

付属していない製品もございますので、製品に同梱されていない場合には、現場方にてホームセンターなどでお買い求めください。



緩み止め参考商品 “ねじロック ロックタイト 243”→



-RING178 組み立て説明書-

株式会社ピラミッド

550-0021

大阪市西区川口3丁目1番16号

tel06-6584-8422

fax06-6584-8421